

9月：二学期！ 防災！ 敬老！ お月見！

学校長 柴田 義晴



今年は、例年にない暑い夏でしたが、皆さまにおかれましては健やかに過ごされられたことと思います。夏休み中の子ども達からのお便り、楽しく拝見しました。

さて、今日から2学期です。一段とたくましく大きくなった子ども達の元気な姿を見ると、充実した夏休みの様子が垣間見えてきます。きっと、学校生活では体験できないようなたくさんの活動を、ご家族で楽しまれたことでしょう。7月の学校通信では「農夫とその子どもたち」のお話を書かせて

いただきましたが、そのお話しの如く、夏休みが「掛けがえのない宝物を授けて頂ける機会」であったことと思います。これから教室や廊下に掲げられる子供たちの活動報告や学習記録、あるいは子供からのお話し等、楽しみにしているところです。

昨日、9月1日は「防災の日」でした。この日は、大正12年9月1日、関東地方に甚大な被害をもたらした関東大震災が発生し、これを教訓として防災活動や危機管理の意識を喚起する目的で設定されました。一昨年3月にはまだ記憶に新しい東日本大震災が起こり、日本国を上げてより一層の防災活動や危機管理の意識が高まってきています。本校においても、本年度より大学と練馬区との災害時における施設の利用に関する協定が結ばれ、本校が練馬区民の避難所、救援物資集積所、災害発生直後に地域住民が一時的に避難する場所、その他被災者の救援活動に必要な場所として、本校児童の教育活動や安全に配慮することを前提に協力することになりました。この連携は、逆に考えれば児童の安全・安心（例えば登下校時）を地域によって支えて頂くことの第一歩とも考えます。

ところで、「秋風に たなびく雲の絶え間より もれいつる月のかげのさやけき（藤原頭輔）」という詩がありますが、この詩が伝えるように、秋になると湿気を加えた夏の熱風から、ほどよく乾いた涼しさを伴う秋風が吹き始めます。その秋風が真っ白い雲を流しながら、真っ青に澄み渡った空をもたらしてくれます。また、夜空には星や月の姿がくっきりと映し出され、敬老の日も近づいたお年寄りにとっては熱中症の心配も和らぎ、正にお月見の季節となります。そして、子ども達にとっては、お勉強に持って来いの季節となります。シンガポールのリー首相は、「本国の繁栄はエアコンにある」とまで言っています。好適な季節は、人のみならず国までその能力を引き出し、高めてくれるようですね。

最後になりますが、二学期は、水泳記録会、教育実習、運動会、菊まつり、全校遠足、菊の子展等の多くの学校行事が計画され、最も長い学期となります。運動会に向けた練習では、残暑がきびしくなっておりますので、熱中症には十分に気をつけ、水分補給と休息を取り入れながら進めてまいりたいと思っております。そして、一ヶ月後には立派な演技と素晴らしい競技をお見せできればと思っております。また、教職員一同、この二学期も安全第一を念頭に、さらに充実した教育活動を進めてまいりたいと存じます。保護者の皆さまには、一学期と同様に、変わらぬご協力、ご支援を賜りませぬ様、心からお願い申し上げます。